

スポーツの華 ラグビー部

新入生諸君、入学御芽出度う。

諸君等が、この伝統ある湘南の校門をくぐって来たからには、勉強以外に何か、目的をもってきた事と思う。その目的というのがスポーツをやって、身体をきたえたいという事だと我々は信じたい。スポーツをやるなら、男らしく、又礼儀正しい、紳士的な、『スポーツの華』ラグビーを御すゝめする。諸君も‘湘南スポーツ’を読んで御承知の事と思うが我がラグビー部の歴史は非常に浅い。為に今だに伝統らしきものは、何も無いが、古来伝統は受け継ぐものではなくして、造り出すものだと云われている。我々は伝統を造り出そうとする気概だけは、持っている。昨今、我がラグビー界は豪州ラグビーの来日で活況を呈している。が残念な事に諸君等が今迄にほとんどラグビーをやっていない、この事がラグビー組みにくしという感を与え敬遠されがちだ。このハンディキャップを乗り越え、諸君が本当にラグビーを愛しプレイせんとするならば我々は双手を挙げて歓迎すると共に諸君等はラグビーの面白味を十分に満喫するだろう。ラグビーの面白さは一度やったものでなければわからない。ラグビーの面白さというか、その味を、覚えてしまえば、それこそ、気狂いの如く好きになってしまう競技である。そこにラグビーの言うに言われぬ無限の魅力がある訳である。

ラグビーは間口は狭いが、奥行きは深い。云いかえれば、一般大衆へあまり普及していないが、観客層の厚さに関しては、抜群である。というのは、諸君等が中学時代に、ラグビーをやっていなかった事でもうなづける。しかし、或る特定地域(例えば東京、北九州、秋田、北見等)に於いては、他のスポーツはどうあれ、ことラグビーに関しては、非常に、熱意があり、従ってその強さというものが、これらの地域に固定され、他地域にあまり普及している様に見える。

熱意というものが、強くなるか、ならないか、大きくいえば、キーポイントだ。

諸君等の注目すべきはここだ！ 何事も熱意をもってやれ！ 一度ラグビーをやろうとするならば、身体の大小等は、問題ではない。我々は真に熱意をもってラグビーをやり、ラグビーを愛する諸君の入部を心待ちにしている。

紙面が限られていて、ラグビーについて、この紙上にくわしく書く事が出来ないが、本当にラグビーをやりたいものは、一度あの変則なボールを持って、ラグビーのだいご味を、充分味わって頂きたい。

最後に、ラグビーを愛する新入生諸君の入部を我々は双手を挙げて歓迎する。来れ！ 若人！

顧問 仲宗根先生

部長 近藤

部員数 十三名 (二、三年)